

家庭調書の書き方（記入例）

- 令和7年10月1日現在（予定）の状態を記入してください。
※入寮許可後に、記載事項が事実と相違していることが確認された場合は、入寮許可を取り消す場合があります。

● 「家族住所（自宅）」欄

住所は、都道府県名から記入してください。
集合住宅の場合は、建物名及び部屋番号まで記入してください。

● 「家族及び所得」欄

- ア 「家族」は同居・別居を問わず出願者と生計を一にする者全員をいいます。
別居して独立の生計を営む兄弟姉妹や、生計を一としない別居の祖父母等の別生計の者は含みません。
- イ 「就学者欄」には、次の【就学者】に在学する者を記入してください。なお、それ以外の専修学校（一般課程）、各種学校などに在学する者は、「就学者を除く家族」欄に記入してください。
- 【就学者】
小・中・高・高専・大学（大学院・専攻科・別科を含む）盲・ろう・特別支援学校・専修学校（高等課程・専門課程）
- ウ 「年齢」は令和7年10月1日現在で記入してください。
- エ 「職業」は、食料品小売店、国家公務員、小学校教員、会社員など具体的に記入してください。なお、主婦、家事手伝い、無職等の場合も必ずその旨を記入してください。
- オ 「勤務開始年月」は、現在の職業に就職した年月を記入してください。
- カ 「在学学校名」の配置者（国・公・私立別）を明記してください。

● 「通学関係」欄

- ア 家族の住所からの通学経路は、最も経済的、合理的な方法による経路を記入してください。
- イ 徒歩区間は1kmあたり15分として計算してください。
- ウ 自宅から最寄り駅（バス停）までは「徒歩」と記入してください。
- エ 新潟県外の家族住所で、通学に係る所要時間が明らかに90分以上かかるものは、「〇〇駅～新潟駅 90分以上」と記入しても構いません。
- オ 所要時間が90分未満の場合であっても、家族住所から通学できない特殊事情がある者は、その理由を「特殊事情」欄に具体的に記入してください。

※要求番号（大学記入）

家 庭 調 書

フリガナ ニイガタ タロウ		氏 名 新潟 太郎		性別 男		学 部 農 学 部 (研究科)		農 学 学科・課程 (専攻)			
家族住所 (自宅) 〒 954 - XXXX 新潟県長岡市〇〇町1-2-3		自宅電話 025 (XXX) XXXX		緊急連絡先 [父の電話番号 090 (XXXX) XXXX]		生年月日 昭和 XX 年 1 月 1 日 (平成 19 歳)					
家族 及 び 所得	就学者を除く家族	続柄	氏 名	年齢	同居の別	勤務開始年月	職 業	給与収入 (税込み) (万円)	大学使用欄 (万円)	給与収入以外の所得 (万円)	大学使用欄 (万円)
		父	新潟 和夫	45	同居	平成30年3	会社員・農業	400		26	
		母									
		姉	新潟 花	23	同居	令和5年4月	銀行員				
		弟	新潟 次郎	3	同居	令和4年4月	幼稚園児				
		祖母	新潟 ウメ	80	同居	平成30年4月	無職				
	※主たる家計支持者の続柄に○をつけてください。								計		計
就学者 (本人を除く)	続柄	氏 名	年齢	在 学 学 校 名			学 年	通 学 別			
	妹	新潟 桜	14	長岡市 立 〇〇中学校			2	自 宅・自宅外			
				立				自 宅・自宅外			
				立				自 宅・自宅外			
				立				自 宅・自宅外			
				立				自 宅・自宅外			
障害関係	種 別		本人との続柄		疾 病 期 間						
	☒ 心身障害 ☒ 長期療養		祖母		令和3年 2月 から長期療養 療養に係る年間支出金額 (48 万円)						
通学関係	通学方法の別		区 間				所 要 時 間		特 殊 事 情		
	徒歩		家族住所(自宅)～JR長岡駅				時間 30分				
	電車		JR長岡駅～JR新潟駅				1 時間 40分				
	電車		JR新潟駅～JR新潟大学前駅				時間 20分				
	徒歩		新潟大学前駅～新潟大学				時間 20分				
		総 所 要 時 間				2 時間 50分					
大 学 使 用 欄	就 学 者	小	中	高	高 専	専 修	大	合 計			
	人 数							人			
	控 除 金 額							万円			
	母(父)子世帯				万円		ア) 総所得金額		万円		
	障害関係				万円		イ) 特別控除額合計		万円		
	主たる家計支持者の別居又は被災				万円		ウ) 認定総所得金額 (アーイ)		万円		
イ) 特別控除額合計				万円		エ) 基準額 (人)		万円			

(注) 出願者本人が作成してください。

● 「給与収入（税込み）」欄及び「給与収入以外の所得」欄

「所得証明書（又は「市民税・県民税課税証明書」）」に基づき、令和6年1月から12月までの1年分の収入（1万円未満の端数は切り捨て）を、次により記入してください。

■ 「給与収入（税込み）」欄

- ア 給与・賞与・遺族の扶助料・年金・恩給・専従者給与等については、収入金額を記入してください。
- イ 同一人物で給与収入が2か所以上からある場合は、合計した収入金額を記入してください。

■ 「給与収入以外の所得」欄

- ア 事業所得・農業所得・利子等については、収入金額から必要経費を差し引いた金額を記入してください。
- イ 工・林・水産業所得等で祖父母名義の所得については、その所得を得るための実質的な働き手が父母の場合は、父母の所得欄に記入してください。

● 「障害関係」欄

- ア 本人又は同居家族に該当者がいる場合は、該当する種別に☒をし、本人との続柄を記入してください。
- イ 該当者が2名以上いる場合は、欄を人数分に分割して記入してください。
- ウ 長期療養者（出願時において6か月以上にわたって療養中の者又は療養の必要があると認められる者）については、疾病期間及び医療費を記入してください。